

作成日 : 2021年 8月27日

改訂日 : 2023年 3月29日 (第2版)

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品名	ホワイトトリボン
製品コード	CHMB
供給者の会社名称	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
住所	東京都千代田区神田練堀町3番地
担当部門	安全環境・品質保証室
電話番号	03-6867-8313
FAX 番号	03-6867-8329
緊急連絡先	03-6867-8313
推奨用途	農薬 (植物成長調整剤)
使用上の制限	農薬登録内容以外の使用は不可
整理番号	1 5 0 3 - 0 3

2. 危険有害性の要約

GHS分類

(物理的及び化学的危険性)

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

(健康に対する有害性)

急性毒性：経口	区分に該当しない
---------	----------

急性毒性：経皮	区分に該当しない
急性毒性：吸入（気体）	区分に該当しない
急性毒性：吸入（蒸気）	分類できない
急性毒性：吸入（粉じん/ミスト）	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2 A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
誤えん有害性	分類できない

(環境に対する有害性)

水生環境有害性 短期（急性）	区分 2
水生環境有害性 長期（慢性）	区分 2
オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語	警告
危険有害性情報	強い眼刺激 水生生物に毒性 長期継続的影響により水生生物に毒性
注意書き 安全対策	取扱い後、手、顔、眼をよく洗うこと。 保護眼鏡、保護面を着用すること。 必要なとき以外は、環境への放出を避けること。
応急措置	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。 漏出物を回収すること。
保管	—
廃棄	内容物/容器を法/条例に従って安全に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
 化学名又は一般名 クロルタルジメチル・デシルアルコール乳剤
 成分及び濃度 (含有率)

成分	化学名/化学式	濃度	(CAS番号)	官報公示整理番号	
				(安衛法)	(化審法)
<成分①> クロルタルジメチル (別名) ダクトール、TCTP、DCPA	2, 3, 5, 6-テトラクロロテレフタル酸ジメチル / $C_{10}H_6Cl_4O_4$	0.2 %	1861-32-1	4-(7)-541	—
<成分②> デシルアルコール	デカン-1-オール / $C_{10}H_{22}O$	70.0 %	112-30-1	既存化学物質	(2)-217
<成分③> 有機溶剤、界面活性剤等	非公開	29.8 %	非公開	非公開	非公開

4. 応急措置

吸入した場合 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診察/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 多量の水で洗うこと。
 皮膚刺激又は発疹を生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、眼科医の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合 水で口をすすぎ、無理に吐かせない。医師の診察/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、水噴霧等

使ってはならない消火剤 棒状水

火災時の特有の危険有害性 燃焼ガスには、一酸化炭素、塩化水素等が含まれる。

特有の消火方法 火元への燃焼源を遮断する。火災周辺の設備、可燃物に散水し、火災延焼を防ぐ。危険でなければ、火災区域から容器を移動する。
 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消火作業の際は、風上から行い、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 漏出液の処理作業には、必ず保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣等を着用する。風上から作業し、ミスト、蒸気、ガス等を吸入しない。
 蒸気が多量に発生する場合は、水噴霧し蒸気発生を抑える。

環境に対する注意事項 河川、湖沼、下水道、土壌等に排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及 少量の場合は、土や砂、ウエス、おがくず等に吸収させて、密閉

び機材	できる空容器に回収する。大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、液面を泡で覆い密閉できる空容器等に回収する。
二次災害の防止策	周辺の発火源を速やかに取り除く。 風下の人を避難させ、漏出場所への人の出入りを禁止する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	取扱いは、換気の良い場所で行う。 取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 裸火禁止。
安全取扱注意事項	ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。 危険物（第4類、第三石油類、水溶性液体）の取扱いを行う。 保護具（保護手袋、保護マスク、保護眼鏡）を着用する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の取扱いをしてはならない。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用する。
接触回避	強力な酸化剤との接触禁止。 炎、火花又は高温体との接触を避ける。
衛生対策	吸い込んだり皮膚や眼に触れたりしないよう、長袖・長ズボンの作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡を着用する。 取扱い後は、手、顔等を石鹸でよく洗い、うがいをする。
保管	
安全な保管条件	保管場所は、壁、柱、床等を耐火構造とする。保管場所を使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。 火気厳禁 直射日光や高温を避け、容器を密閉して換気の良い冷暗所に、施錠して保管する。 混触危険物質の強酸化剤から離して保管する。
安全な容器包装資材	耐溶剤性容器
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度等	
管理濃度	未設定
許容濃度	日本産業衛生学会(2017年版)、ACGIH（2017年版）で未設定
設備対策	取扱い場所には、局所排気又は全体換気装置を設置する。 取扱い場所には、洗眼器と安全シャワーを設置する。
保護具	
呼吸用保護具	有機蒸気用カートリッジ付き防毒マスク
手の保護具	不浸透性の保護手袋
眼、顔面の保護具	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	不浸透性作業衣、保護長靴
特別な注意事項	情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	澄明液体
色	淡黄色
臭い	特異臭
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	113℃ (クリーブランド開放式)
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	4.4 (20%水溶液)
動粘性率	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度 (比重)	0.863 (室温)
相対ガス密度	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の手扱いでは反応性なし
化学的安定性	通常の保管条件では安定
危険有害反応可能性	強酸化剤と混触すると激しく反応することがある。
避けるべき条件	高温、日光、裸火、静電気、スパーク
混触危険物質	強酸化剤 (塩素酸ナトリウム、過塩素酸ナトリウム、過塩素酸マグネシウム、過酸化水素水、硝酸、硝酸ナトリウム、硝酸アンモニウム、硝酸銀、硝酸第二水銀等)
危険有害な分解生成物	燃焼ガスには、一酸化炭素、塩化水素等が含まれる。

11. 有害性情報

急性毒性	経口 LD50	>2,000 mg/kg (雌ラット) (区分に該当しない)
	経皮 LD50	>2,000 mg/kg (雌雄ラット) (区分に該当しない)
	吸入 LC50	情報不足 (分類できない)
皮膚腐食性/刺激性		軽度の刺激性あり (ウサギ) (GHS分類基準以下の刺激性; 区分に該当しない)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		中等度の刺激性あり (ウサギ) (区分 2A)
呼吸器感作性		情報なし (分類できない)
皮膚感作性		陰性 (モルモット) (区分に該当しない)
生殖細胞変異原性		情報なし (分類できない)
発がん性		情報なし (分類できない)
生殖毒性		情報なし (分類できない)

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 情報なし（分類できない）
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 情報なし（分類できない）
誤えん有害性 情報なし（分類できない）

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性：	コイ	LC50 (96 hr)	8.61	mg/L
甲殻類：	オオミジンコ	EC50 (48 hr)	9.56	mg/L
藻類：	緑藻	ErC50 (0-72 hr)	5.48	mg/L
		NOECr	0.102	mg/L

上記の結果から、水生環境有害性 短期（急性）を区分 2 とし、水生環境有害性 長期（慢性）を区分 2 とした。

残留性・分解性 情報なし
生体蓄積性 情報なし
土壌中の移動性 情報なし
オゾン層への有害性 情報なし（分類できない）

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
空容器、汚染容器等 内容物を完全に除去し、関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
これらの処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た産業廃棄物業者に委託すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	UN 3082
品名(国連輸送名)	環境有害物質、液体、他に品名が明示されていないもの（ダクタール、1-デカノール混合物）
国連分類	クラス9
容器等級	III
海上輸送	IMO/IMDGの規定に従う。
航空輸送	IATA/ICAOの規定に従う。
海洋汚染物質	該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。輸送容器は衝撃を与えないように丁寧に取扱う。転倒したり、激突させたりしない。
国内規制	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。

応急措置指針番号 171

15. 適用法令

農薬取締法	農薬登録番号：24510号
化学物質排出把握管理促進法	デシルアルコール（別名デカノール）：第一種指定化学物質（2023年4月1日以降、「アルカノール（炭素数が10のものに限る。）（別名デカノール）」に名称変更；管理番号 257）70%
労働安全衛生法	該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物・劇物に該当しない。
消防法	危険物 第4類、第三石油類、水溶性液体、危険等級Ⅲ
化審法	優先評価化学物質 デカン-1-オール（デシルアルコール）
船舶安全法	環境有害物質（液体）有害性物質 等級9
航空法	その他の有害物件 分類番号9
海洋汚染防止法	個品運送：該当しない。

16. その他の情報

参考文献、資料等： —

記載内容の取扱い：

- ・記載内容はこの製品の一般的な取扱いに関する情報提供であって、いかなる保証をなすものではありません。
- ・記載内容は現時点で一般的に入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、全ての情報が網羅されているわけではありません。
- ・新たな情報を入手した場合は改訂されることがあります。
- ・注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。